



平成 26 年 7 月 31 日

各 位

会社名 ユニチカ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 注連 浩行
 (コード番号：3103、東証第一部)
 問合せ先 経営管理室長 杉澤 滋
 (TEL 06-6281-5695)

**第三者割当による種類株式の払込完了、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに
 剰余金の処分の効力発生に関するお知らせ**

平成 26 年 5 月 26 日付「第三者割当による種類株式の発行、定款一部変更、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少、剰余金の処分並びに金融支援要請に関するお知らせ」にてお知らせいたしました A 種種類株式、B 種種類株式及び C 種種類株式（以下「本種類株式」といいます。）の発行につき、本日、払込手続が完了いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

また、これに伴い、上記プレスリリースにてお知らせいたしました資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の効力が発生いたしましたので、併せてお知らせします。

記

I. 本種類株式の発行について

1. 第三者割当による A 種種類株式の発行の概要

① 払 込 期 日	平成 26 年 7 月 31 日
② 発 行 新 株 式 数	21,740 株
③ 発 行 価 額	1 株につき 金 1,000,000 円
④ 調 達 資 金 の 額	21,740,000,000 円
⑤ 増 加 す る 資 本 金 及 び 資 本 準 備 金	資本金 10,870,000,000 円 (1 株につき、500,000 円) 資本準備金 10,870,000,000 円 (1 株につき、500,000 円)
⑥ 募 集 又 は 割 当 方 法、 割 当 先	第三者割当の方法により割り当てる。 株式会社三菱東京UFJ銀行 21,740 株

2. 第三者割当による B 種種類株式の発行の概要

① 払 込 期 日	平成 26 年 7 月 31 日
② 発 行 新 株 式 数	5,759 株
③ 発 行 価 額	1 株につき 金 1,000,000 円
④ 調 達 資 金 の 額	5,759,000,000 円
⑤ 増 加 す る 資 本 金 及 び 資 本 準 備 金	資本金 2,879,500,000 円 (1 株につき、500,000 円) 資本準備金 2,879,500,000 円 (1 株につき、500,000 円)
⑥ 募 集 又 は 割 当 方 法、 割 当 先	第三者割当の方法により割り当てる。 株式会社みずほ銀行 3,635 株 三菱UFJ信託銀行株式会社 2,124 株

本資料は、一般の株主および投資家に対する情報提供を目的に作成されたものであり、当社が発行する証券の勧誘を目的として作成されたものではありません。本資料に記載された予測、予想、見込みその他の将来情報は、現時点で当社が把握可能な情報および一定の前提または仮定に基づくものであり、今後、経済情勢をはじめ、当社の業績に影響を与える様々な既知または未知のリスクによって、ここに述べられている見通しと実際の結果が、大きく異なる可能性があります。

3. 第三者割当によるC種種類株式の発行の概要

① 払込期日	平成26年7月31日
② 発行新株式数	10,000株
③ 発行価額	1株につき 金1,000,000円
④ 調達資金の額	10,000,000,000円
⑤ 増加する資本金 及び資本準備金	資本金 5,000,000,000円 (1株につき、500,000円) 資本準備金 5,000,000,000円 (1株につき、500,000円)
⑥ 募集又は割当方法、 割当先	第三者割当の方法により割り当てる。 ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第1号投資事業有限責任 組合 10,000株

4. 第三者割当による発行済株式総数及び資本金の額の推移

	発行済 普通株式総数	発行済 A種種類株式総数	発行済 B種種類株式総数	発行済 C種種類株式総数	資本金の額 (注)
発行前	577,523,433株	0株	0株	0株	26,298,450,000円
発行後	577,523,433株	21,740株	5,759株	10,000株	45,047,950,000円

(注) 下記Ⅱ.のとおり、資本金の額の減少の効力が発生していますが、上記の発行後の資本金の額としては当該資本金の額の減少の効力の発生前の額を記載しています。

Ⅱ. 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少について

会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき資本金44,947,500,000円、資本準備金23,134,500,000円及び利益準備金1,506,000,000円を減少させ、資本金及び資本準備金をその他資本剰余金へ、利益準備金を繰越利益剰余金へ、それぞれ振り替えました。

Ⅲ. 剰余金の処分について

会社法第452条の規定に基づきその他資本剰余金7,806,341,322円及び別途積立金1,150,000,000円を減少させ、その全額を繰越利益剰余金に振り替えました。

上記Ⅱ.の資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに上記Ⅲ.の剰余金の処分の効力発生後、資本金の額は100,450,000円、資本準備金の額は23,645円、その他資本剰余金の額は60,275,658,678円、利益準備金の額は0円、別途積立金の額は0円、繰越利益剰余金の額は0円となります。

以上

本資料は、一般の株主および投資家に対する情報提供を目的に作成されたものであり、当社が発行する証券の勧誘を目的として作成されたものではありません。本資料に記載された予測、予想、見込みその他の将来情報は、現時点で当社が把握可能な情報および一定の前提または仮定に基づくものであり、今後、経済情勢をはじめ、当社の業績に影響を与える様々な既知または未知のリスクによって、ここに述べられている見通しと実際の結果が、大きく異なる可能性があります。